

礼拝堂コンサート

弦楽四重奏とソプラノ独唱の優雅な昼下がり

2012年10月6日 (土)

開場 13:30

開演 14:00

会場 聖望学園 礼拝堂
入場無料

綵さい 弦楽四重奏団・馬原裕子 (ソプラノ)

プログラム

モーツァルト：弦楽四重奏曲「狩り」より

ウエストサイドストーリー より

アヴェ・マリア

ゴンドラの唄……他

主催：聖望学園中学校高等学校・聖望学園PTA

お問い合わせ先：(042)973-1500

平日9:00~16:00 土日は受付しておりません。



演奏者プロフィール



鈴木まどか ヴァイオリン

1992年桐朋学園大学卒業。同大学派遣によりタングルウッド音楽祭に招待参加。1993年読売新人賞受賞。1997年日本室内楽コンクール第2位（ピアノ加納麻衣子とのデュオ）。1998年ミュンヘン国際音楽コンクールデュオ部門セミファイナリスト。1999年ハンブルクにて研修、S・ワグナー氏に師事。2002年ルイグレーラー記念室内楽助成により東京文化会館においてリサイタル等。室内楽を中心に、舞台作品の音楽や新作の初演も数多く手がけるなど多方面で演奏活動を行っている。日本フォーレ協会会員。

1994年より2004年3月まで桐朋学園大学アンサンブルディプロマコース嘱託演奏員を務める。

これまでにヴァイオリンを近藤富雄、伊藤美佐子、小国英樹、原田幸一郎、宗倫匡の各氏に、また国内外のコースにてJ.カントロフ、V.クリモフ、L.クラスナー、G.ジャリ、R.パスキエ、P.アモイヤル、C・イヴァルディの各氏に師事。



中島久美 ヴァイオリン

東京藝術大学附属高等学校を経て、同大学をヴァイオリン、同大学院をヴィオラで修了。第5回日本室内楽コンクール第2位受賞。

1995年より5年間、桐朋学園大学にて嘱託演奏員を務める。

その後アムステルダムで、J・クスマウル氏の下更なる研鑽を積む傍ら、ダンスと声を使った即興パフォーマンスなどを学ぶ。

ポルトガルの音楽祭において、アンナ・ピルスマと5重奏を共演。

帰国後2004年より、自身のヴァイオリン&ヴィオラと様々な楽器のコラボレーション企画シリーズ「二鳥のコンサート」を開始。

2010年6月にVol. 7を開催した。その他の、多ジャンルにわたる演奏、録音、編曲などの活動に励み、新たな展開を見せる。

ヴァイオリンを鷺見四郎、澤和樹、久合田緑、J・マウラー。ヴィオラを菅沼準二。

室内楽を岡山潔、ゴールドベルグ・山根美代子、田中千香土の各氏に師事。

アンサンブル東風、ワールドスタンダードのメンバー



佐々木真史 ヴィオラ

1993年、東京芸術大学卒業。1999年まで東京芸術大学管弦楽研究部講師を務める。その間、各地のオーケストラで客演首席奏者を務める。1998年、彦根市文化プラザの主催によりソロリサイタルを行う。1999年、ハンブルクにて研修し深井硯章氏に師事。帰国後仙台フィルハーモニー管弦楽団首席奏者に就任する。2002年仙台と東京においてピアノの國谷尊之氏とデュオリサイタルを開催する。2003、2004年、セレーノ弦楽四重奏団のメンバーとして、松尾財団音楽助成を受ける。2003年、原村音楽セミナーにて緑の風音楽賞を受賞。またソリストとして仙台フィルの定期演奏会等に出演している。これまでにヴァイオリンを鈴木嵯峨子氏。ヴィオラを小国英樹、浅妻文樹、川崎和憲の各氏に師事。室内楽を岡山潔氏に師事。

セレーノ弦楽四重奏団メンバー、パッサ協会管弦楽団首席奏者。

2011年3月、仙台フィルハーモニー管弦楽団を退団し、東京を拠点にフリーのヴィオラ奏者として、新たな活動を展開している。



阪田宏彰 チェロ

国立音楽大学卒。

YAMATO 弦楽四重奏団代表。松尾学術財団より特別奨励金を受けて活動を開始。秋田県大曲市新人音楽祭にてグランプリ受賞。大阪国際室内楽コンクール入選。

JYACMS の第10回記念コンサート、リゾナーレ音楽祭、NHK-FM リサイタル、ニッポン放送公開録音「新日鉄コンサート」プロモシングアーティストシリーズなどに出演。

CD「山田耕筰 室内楽全集」「弦楽四重奏のための日本民謡」「弦楽四重奏のためのピアソラ」をリリース。

浜野考史退団後、同団代表を務める。

喜多直毅とTANGOPHOBICSメンバーとして「TANGOPHOBIA」「Concet in MORIOKA」をリリース。

Cello Ensemble 008 代表。

群馬交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー、山形交響楽団などの客演首席奏者を務める。

桜美林大学非常勤講師。

ホームページ「TUNE THE CELLO!」<http://candi.sakura.ne.jp/>



馬原裕子 ソプラノ

東京藝術大学声楽科卒業。同大学大学院修了。

第13回日本声楽コンクール第2位をはじめ、

第14回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位及び中田喜直賞を受賞。

第3回長久手オペラ声楽コンクール第1位。

第77回日本音楽コンクール第3位入賞。

2002年より続けて小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトに参加。

「こうもり」ではイダ役を、また演奏会形式公演にてアデーレ、

「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ、「ラ・ボエーム」ではムゼッタで出演。

2005年には小澤征爾指揮東京オペラの森「エレクトラ」に裾持ちの女で出演。その他にも「ファルスタッフ」ナンネッタ、「ピーター・グライムス」女将の2人の姪等がある。

2005年秋よりドイツにて研鑽を積む。

帰国後数多くのコンサートで活躍、2011年4月東京二期会公演「フィガロの結婚」バルバリーナ役での活躍は特筆に値する。

コンサートに於いても、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「四季」、メンデルスゾーン「エアリア」「賛歌」、ベートーヴェン「第九」等、多くの公演で活躍。

瑞々しい歌声と確かな歌唱テクニックで今後の活躍に期待と注目が集まる気鋭のソプラノ。二期会会員。



三浦真由美 ピアノ

国立音楽大学附属音楽高等学校、国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。

ピアノ教育連盟ピアノコンクール入賞。1988年より7年間鹿児島短期大学（現鹿児島国際大学）にて後進の指導に当たる。その間鹿児島県内の離島を含む各地において度々巡回演奏会を行う。釈迦郡 誠、三輪 房子の各氏に師事。近年は声楽等の伴奏のほか、

連弾や2台ピアノデュオなども手がけシリーズで演奏会を開いている。